

文部科学省認可通信教育
(第4種 定形外郵便)
令和5年7月発行

放送大学滋賀学習センター

樹 滴

緑豊かな環境

真理のしたたり

第128号

〒520-2123

滋賀県大津市瀬田大江町横谷1-5

龍谷大学瀬田キャンパス4号館1階

TEL.077-545-0362

FAX.077-545-2096

<https://www.sc.ouj.ac.jp/center/shiga/>

目 次

「アメリカ：ボクシングを通してみる社会」(滋賀学習センター所長 平井 肇)	1
「ウィズコロナの時代に」(滋賀学習センター客員教授 伊藤 美樹子)	2
学習相談会のご案内、令和5年度第1学期在籍者統計	3
セミナーのご案内	4
事務室からのお知らせ	6



「アメリカ：ボクシングを通してみる社会」

滋賀学習センター所長 平井 肇

スポーツと社会や文化の関係を扱った書物や雑誌を読んでいると、「スポーツは社会を映し出す鏡」といった表現に出会うことがあります。スポーツは人間がおこなう行為（する、見る、語るなど）なので、そこに文化や社会の様相が反映されるのは、ある意味で当然のことです。

若い頃に読んだ論文で印象に残っているのが、1952年にアメリカの社会学の雑誌に掲載された”The Occupational Culture of the Boxer”¹ という論文です。訳すと「ボクサーの職業文化」、アメリカの大都会シカゴに住むボクサーを調査してまとめられた 10 ページの短い論文です。随分昔の論文ですが、スポーツと社会や文化の関係について考える上で、今でもたいへん参考になる研究だと思っています。

この論文の中身ですが、著者は 20 世紀前半に活躍したボクサーの民族的特性を調べ、その結果、時代ごとに一番新しく都市部に流入した民族集団、一般的に社会経済的に最下層に属する人々の間から優秀なボクサーが一番多く輩出されていることを発見しました。20 世紀初期はアイルランド系・ドイツ系・イングランド系、次の時代がアイルランド系・ドイツ系・イタリア系、1930 年代にはイタリア系・アイルランド系・ユダヤ系、第二次世界大戦終結直後は黒人²・イタリア系・メキシコ系の順といった具合です。

著者は、かつてボクシング界の一大勢力であった民族集団では、社会経済的な地位が相対的に上がるにつれて優秀なボクサーの数は減って、元ボクサーがトレーナーやマネージャー、プロモーター（興行主）になる傾向があり、民族集団のボクシングに対する関心も薄れて行くと論じています。この調査結果から、ボクサーになるには同じ民族集団に属する街のヒーローや遊び仲間、家族など身近な人の存在が関係していると著者たちは考えました。そして、時代とともにロールモデルになるボクサーが少なくなると、ボクサーとしての職業文化も廃れてしまうと結論づけています。

この論文を初めて読んだ時、「あーそうか」程度の感想しかありませんでした。ところが、ある映画がきっかけで、この論文の理解が一気に深まりました。その映画とは、そうです、あの『ロッキー (Rocky)』³ です。1976 年に公開されたこの映画は、うだつが上がらないボクサーのロッキーが、世界チャンピオンからタイトル挑戦のチャンスをもらい、周囲の人たちの協力でトレーニングを積んでタイトルマッチに臨むというストーリーです。私にはこの映画の芸術性を評価することはできませんが、スポーツ文化論やスポーツ社会学の視点から見ると、とても興味深い作品です。

主人公のロッキーはイタリア系、トレーナーはアイルランド系、プロモーターは、おそらくドイツ系かユダヤ系です。そして、チャンピオンは黒人です。これは先に紹介したチャンピオンの民族的な変遷からすれば、かつて主流だったグループ対 1970 年代に主流となったグループという構図になっています。ロッキーの恋人とその兄で精肉工場働く友人はポーランド系で、ロッキーやトレーナーと同じくカトリックです。ちょうど二百年前にアメリカの独立宣言が行われたフィラデルフィアの地で、黒人が白人にチャンスをプレゼントする設定も、公民権運動やベトナム戦争後のアメリカ社会の変容を映し出すという仕掛けと思われまます。他にも、当時の社会を反映している演出が随所に見られます。

私にとって、この論文がより良く理解できて、アメリカ社会とボクシング界の関係について考える上で「目から鱗」となった映画でした。しかし、同時に、この映画は、ある意味「乱暴で危険な」映画だと感じました。娯楽映画には観る人を楽しませるストーリーや演出が大切なのは当然ですが、この映画はアメリカ社会、特に特定の人種・民族や宗教、職業等をあまりにも単純化・ステレオタイプ化していると感じました。映画だとそれでも良いのかも知れませんが、学問の世界ではそうではありません。「ていねいに調べ、分析し、説明する」、「ていねいに（＝少し疑いの目で）読み、考え、評価する」姿勢が大切だと改めて思わされたという意味で、思い出に残る論文と映画でした。鏡にも曇りがあったり、凸凹があったり、一部欠けていることもあります。鏡に映る姿が本当の姿とは限らないので、注意が必要ですね。

1 S.K. Weinberg & H Around, “The Occupational Culture of the Boxer” AJS 57:5:460-469, 1952.

2 原著では Negro (ニグロ) という言葉が使われていますが、ここでは黒人と表記します。

3 Rocky, United Artists, 1976.

「ウィズコロナの時代に」

滋賀学習センター客員教授 伊藤 美樹子

コロナが5類に移行しました。新型コロナウイルス感染症が「新型インフルエンザ等感染症」から「5類感染症」に変更されること等に伴い、飲み会や食事会など、この3年間ほとんどできなかったことができるようになりました。マスクをしない場面も少しずつ増えてきています。移行前の法律では、新規患者数、重症者数、死亡者数などの患者発生動向は日単位で発表することになっていましたが、5月8日以降の法律（感染症法：感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律）¹では、週単位の報告となり、「法律に基づき行政が様々な要請・関与をしていく仕組み」から、「個人の選択を尊重し、国民の皆さまの自主的な取組をベースとしたもの」に転換しています。こうした感染対策の枠組みの転換は「with コロナ政策」から「アフターコロナ政策」への転換とも称されます。

政策の転換でコロナ感染症が報道されなくなり、身近なところで感染する人が減っていますが、集中治療室での入院患者数は増加しています。コロナウイルスは、消えた訳ではありません。日本ウイルス学会は「ウイルスは宿主(ホスト)となる生物の中に入り込んで初めて増殖することができます。そのためウイルスはいつも宿主を求めてさまよいつづけ、時には宿主となった生物に大きな病気をもたらすことがあります。²」と説明しています。病原性が強すぎて、宿主が死んでしまふと自分達も生存できないという帰結を招きます。新型コロナウイルスは宿主であるヒトとの共生を目指してさまよっているという意味で、まだまだこれからも「with コロナ」時代は続いていくと言えましょう。

さてそんな性質を持つ「ウイルス」は、コンピュータ用語としても用いられています。

コンピュータウイルスとは、「第三者のプログラムやデータベースに対して意図的に何らかの被害を及ぼすように作られたプログラム」で、自らの機能によって他のシステムに伝染する機能「自己伝染機能」や、「潜伏機能」、あるいはプログラム、データ等のファイルの破壊を行ったり、設計者の意図しない動作をする等の「発病機能」のいずれかを持つものとされています（平成7年7月 通商産業省（当時）「コンピュータウイルス対策基準³」）。

すなわち、コンピュータ・ウイルスとは「ウイルス」の持つ性質をメタファーとして、コンピュータに及ぼされる害を説明した用語です。コンピュータが普及し出した2000年ごろの話ですが、九州地方で保健師として働いていた卒業生が初任地から離島に赴任した時、若い保健師が使う新しいコンピュータには「ウイルスに感染しないように」と布がかけてあったといいます。この話がほとんどの方にとって笑い話に聞こえたら心配はないのですが、気になるところです。

「アフターコロナ」も「コンピュータウイルス」も、時代や現象を表すために広く用いられる用語ですが、またそれは同時に安易に「個人の責任」が強調される言葉でもある点が危惧されます。

こんな話をするのも実は訳があります。

先日、研究室内で「サポート詐欺⁴」に遭いました。インターネット閲覧中に偽のセキュリティ警告等を表示し、金銭を騙し取ろうとする「サポート詐欺」です。インターネットサーフィン中にウイルス感染をほのめかす「警告表示」が突然現れ、動揺した教室員が表示された電話番号に連絡。ウイルス感染を「あなたの責任」と脅され、サポート費用の支払いを迫られました。これは人間の心理的な隙や行動のミスにつけ込んだソーシャルエンジニアリングと言われるサポート詐欺です。幸い、途中で詐欺に気づいてことなきを得ましたが、教室員は未だ憔悴しています。ただし相手に電話番号が知られてしまいました。

免疫のない私たちがウイルス感染するのは仕方のないことです。そんな私たちが直面する課題が、「個人的なこと」「私的」なこととして、見過ごされることのないよう、適切な対応を喚起する呼びかけやコミュニケーションの探究が必要だと思う今日この頃です。

1) 新型コロナウイルス感染症対策アドバイザリーボード．新型コロナウイルス感染症（COVID -19）の感染症法上の位置づけの変更について <https://www.mhlw.go.jp/content/10900000/001108944.pdf>

2) 日本ウイルス学会．日本ウイルス学会について．http://jsv.umin.jp/about_jsv/about_jsv.html

3) 経済産業省．コンピュータウイルス対策基準．<https://www.meti.go.jp/policy/netsecurity/CvirusCMG.htm>

4) 警察庁．サポート詐欺対策．<https://www.npa.go.jp/bureau/cyber/countermeasures/support-fraud.html>

学習相談会のご案内

修学上のいろいろな問題について、所長および客員教員が学習相談に応じます。

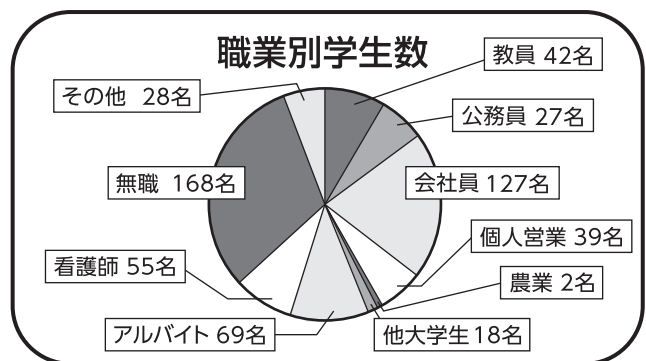
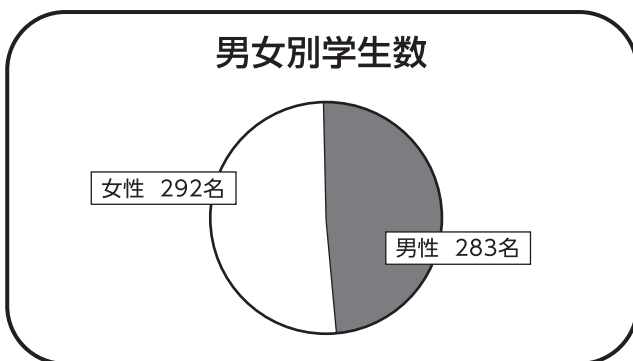
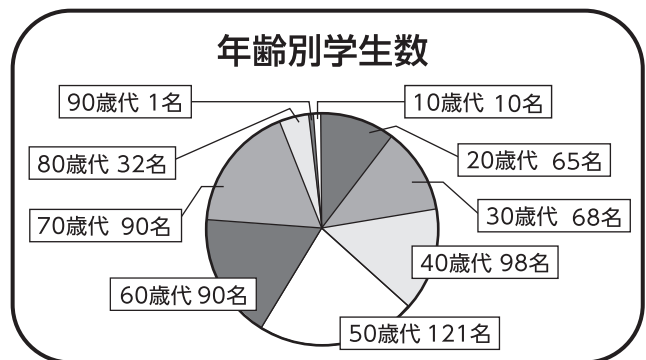
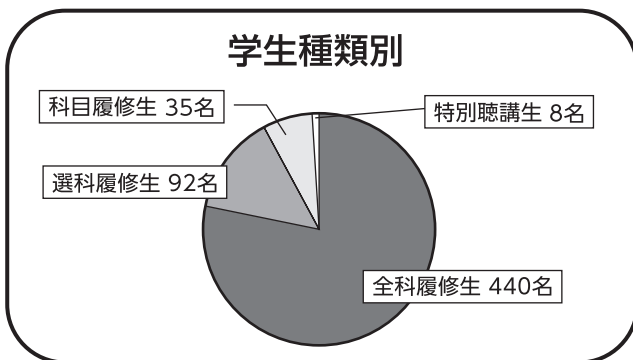
セミナー終了後に学習相談会を設けていますので、相談をご希望の方はこの機会をご活用ください。

- ① 事務室窓口横のラックにある「学習相談会申込書」に必要事項を記入し、事務室に提出してください。
- ② 原則、セミナー終了後の学習相談会での相談となりますが、それ以外での相談の場合は、日時などを調整後、ご連絡いたします。

所長への学習相談は随時受け付けていますので、お気軽にお申し出ください。
 なお、出張等による不在日がありますので、事前に事務室で所長の予定をご確認いただき、電話または窓口でご予約ください。

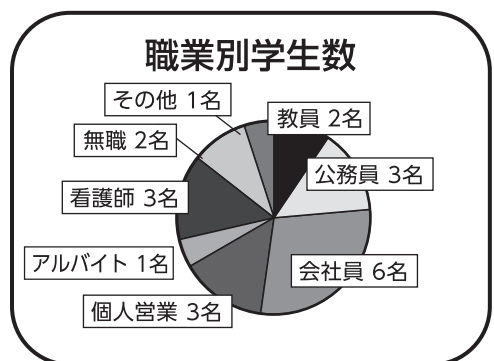
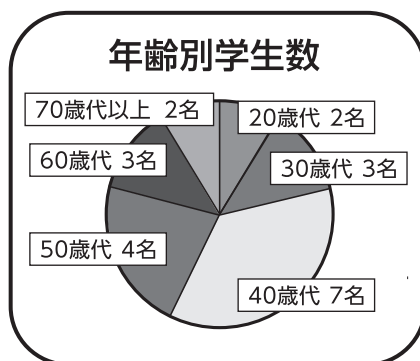
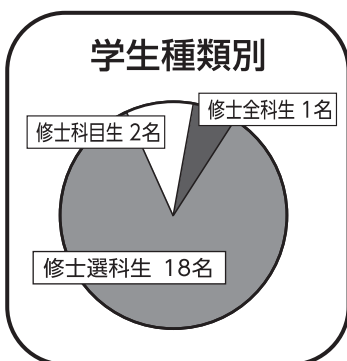
令和 5 年度第 1 学期在籍者統計

◇教養学部： 575名（男性：283名 女性：292名／最年少 18歳 最高齢 96歳）



※職業別グラフで「無職」には定年退職者や専業主婦(夫)も含まれます。

◇大学院： 21名（男性 10名、女性11名、最年少 25歳、最高齢 81歳）



セミナー のご案内

所長・客員教員が開催する学びの場です。原則として滋賀学習センター所属の学生が参加できます。

以下の日程が変更になる場合は、滋賀学習センターウェブサイト及び掲示板でお知らせしますのでご注意ください。



【スポーツ文化論セミナー】世界のスポーツと身体文化

平井 肇 所長

現代社会におけるスポーツの社会・文化的な意義と役割について、比較文化論と地域研究の視点から分析・考察します。スポーツ好きがスポーツについて気軽に語り合う場です。

7月 9日(日)10:15～11:45 8月20日(日)10:15～11:45
9月17日(日)10:15～11:45

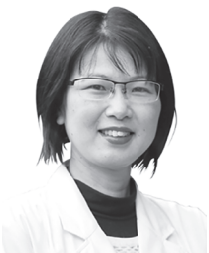


【保健学セミナー】公的統計から読み解く健康のすがた

伊藤 美樹子 先生

保健医療・福祉に関する統計データの経年変化や地域間比較から、現代人の健康のすがたや地域としての健康課題を参加者の皆さんと一緒に読み解きながら考えたいと思います。

7月 4日(火)10:15～11:45 7月11日(火)10:15～11:45
8月 9日(水)13:30～15:00 8月29日(火)10:15～11:45
9月 5日(火)15:15～16:45 9月19日(火)10:15～11:45



【基礎化学セミナー】生活の中の化学

糟野 潤 先生

身近な生活の中に化学は深く関わっています。化学の基本である「元素の周期表」が完成する前から、化学の研究は盛んに行われてきました。演示実験にいくつか取り組んで、化学の世界を楽しんでください。

7月12日(水)10:15～11:45 8月24日(木)10:15～11:45



【社会デザイン研究セミナー】21世紀社会デザインの展開

川中 大輔 先生

現代社会をどのように変革していくことが求められているのか。本セミナーではこの問いに対して、社会的排除やジェンダー不平等などの具体的な社会問題を取り上げながら、目指す方向／方法を検討していきたい。

7月14日(金)15:15～16:45 8月30日(水)10:15～11:45
9月19日(火)15:15～16:45

事務室 からの お知らせ

単位認定試験、卒業研究の履修申請、次学期に向けての手続き、学生証の有効期限、各種変更手続き、などについてご案内します。

2023年度第1学期単位認定試験について

2023年度第1学期単位認定試験は、引き続き、Web受験方式(一部科目は郵送受験方式)にて実施します。インターネットを通じて、試験期間中いつでも自宅等から受験することができます。詳細については、単位認定試験実施日までに大学本部から郵送される資料、または、ウェブサイトでご確認ください。

◆試験実施方法概要

◎Web受験方式

自宅等から、インターネットを通じてWeb単位認定試験システムにアクセスし、解答を提出します。

- ◇ 択一式問題 → 選択肢をクリックし解答します。
- ◇ 記述式問題 → 解答記入欄に文字入力し解答します。

- ・ 科目ごとに「択一式」「記述式」「(択一式と記述式の)併用式」のいずれかの形式で出題されます。
- ・ 1科目50分の制限時間があります。(一時停止不可、1回のみ受験可能)

◎郵送受験方式

7月上旬ごろ大学本部から送られる問題用紙・解答用紙・提出用封筒を用いて、郵送で解答を提出します。

- ◇ 郵送受験方式対象科目は「正多面体と素数(21)」、「日本美術史の近代とその外部(18)」、「量子化学(19)」のみです。

◆2023年度第1学期試験日程

- ◎Web受験方式(提出期間)：2023年7月15日(土)9:00～7月25日(火)17:00
- ◎郵送受験方式(提出期間)：2023年7月15日(土)～7月25日(火)《必着》

◆自宅等でのWeb受験が困難な方

ご自宅にインターネット環境がない、またはパソコン操作が困難等の事情によりWeb受験が困難な方は、申請を行う事で、単位認定試験を学習センターで受験することができます。
詳細は、滋賀学習センターにお問い合わせください。

2024年度履修者用 卒業研究の履修申請について

■申請時期について

[新規履修希望者]

申請は「インターネット申請」と「郵送による申請」の2種類です。

申請期間：インターネット申請 2023年8月10日(木)9:00～8月17日(木)17:00

郵送による申請 2023年8月10日(木)～8月17日(木)【本部必着】

■履修申請条件

[新規履修希望者]

2023年4月の時点で**2年以上**在学し^{*}、申請時点で**62単位**以上を修得していること。

^{*}全科履修生として休学期間及び停学期間を除いて2年(2年次編入学者は1年)以上在学していること。

3年次編入学者は2年在学したものとみなします。

^{*}現在休学中の方は申請できません。



※2024 年度卒業研究履修申請の特例者については、「2021 年度第 2 学期第 1 年次入学者及び、2022 年度第 2 学期第 2 年次編入学者のうち休学及び停学をしたことのない者で、2023 年度第 1 学期末までの修得見込み単位数が、62 単位以上の者」とします。

この履修申請条件を満たしたうえで、履修開始の前年度に「卒業研究申請書」を作成、提出し、審査により認められた場合に、卒業研究の科目登録及び履修ができます。なお、申請後休学や卒業をすると履修資格を失います。

「卒業研究履修の手引」の配付を学習センターで行っています。
履修申請要件及び申請方法等について必ずご確認の上、申請してください。
詳細は、「卒業研究履修の手引」をご覧ください。

次学期に向けての手続きについて

<9 月で学籍が切れる方>

学習を継続される方、再試験を受ける方は継続入学手続きをしてください。

- 申請期間：第 1 回(郵送) 6 月 10 日(土)～8 月 31 日(木)まで ※私書箱
(インターネット)6 月 10 日(土)9:00～8 月 31 日(木)24:00 まで
- 第 2 回(郵送) 9 月 1 日(金)～9 月 12 日(火)まで ※私書箱
(インターネット)9 月 1 日(金)0:00～9 月 12 日(火)17:00 まで

■提出物：学生募集要項出願票

※ 選科生、科目生から全科生へ入学する場合も、「学生募集要項出願票」で出願してください。

※ 新規に科目登録をせず、再試験のみを希望される場合は、「今回は再試験のためだけの出願である」に○を付けてください。

<次学期も学籍が続く方> 「学生生活の葉」学部：55 頁～58 頁、大学院：56 頁～62 頁参照

期間内に次学期の科目登録をしてください。

- 申請期間：(システム WAKABA)8 月 15 日(火)9:00～8 月 31 日(木)24:00 まで
(郵送) 8 月 15 日(火)～8 月 30 日(水) ※私書箱必着
- 提出物：科目登録申請票

<今学期で卒業見込みの方> 「学生生活の葉」学部：91 頁～92 頁、大学院：90 頁参照

学習を継続される方は、以下のとおり手続きをしてください。

⇒学籍が続く方

①卒業となった場合の手続き → 継続入学手続き

- 申請期間：第 1 回(郵送) 6 月 10 日(土)～8 月 31 日(木)まで ※私書箱
(インターネット)6 月 10 日(土)9:00～8 月 31 日(木)24:00 まで
- 第 2 回(郵送) 9 月 1 日(金)～9 月 12 日(火)まで ※私書箱
(インターネット)9 月 1 日(金)0:00～9 月 12 日(火)17:00 まで

■提出物：学生募集要項出願票

②卒業とならない場合に備えての手続き → 科目登録

- 申請期間：(システム WAKABA)8 月 15 日(火)9:00～8 月 31 日(木)24:00 まで
(郵送) 8 月 15 日(火)～8 月 30 日(水) ※私書箱必着
- 提出物：科目登録申請票

システム WAKABA を
ご活用ください!



⇒学籍が切れる方 → 継続入学手続き

- 申請期間：第 1 回(郵送) 6月10日(土)～8月31日(木)まで ※私書箱必着
(インターネット)6月10日(土)9:00～8月31日(木)24:00まで
第 2 回(郵送) 9月 1日(金)～9月12日(火)まで ※私書箱必着
(インターネット)9月 1日(金)0:00～9月12日(火)17:00まで

- 提出物：学生募集要項出願票

学生証の有効期限について

学生証の有効期限が切れた方は、期限切れの学生証を持参し、学習センターで学生証の交換手続きを行ってください。(全科生=2年間 選科生=1年間 科目生=半年間)

各種変更手続きについて**■住所等の変更**

入学後、「現住所」、「連絡先の電話」に変更があったときは、すみやかに「住所等変更届」を提出(システム WAKABA での届出も可)するとともに、「現住所」変更の場合は、最寄りの郵便局にも転居届を提出してください。

【学生生活の葉】学部：84 頁、修：81 頁、博：85 頁参照

■氏名の変更

入学後、「氏名」に変更があったときは、すみやかに「氏名等変更届」を提出(システム WAKABA での届出も可)してください。なお、あわせて学生証再発行の手続きも行ってください。

※ 手続きを行わなかった場合は、単位認定試験の受験が認められないことがあります。

【学生生活の葉】学部：83 頁、修：81 頁、博：84 頁参照

■学生証の再発行

紛失、盗難等により学生証を失った場合、汚損等により使用不能となった場合及び氏名の変更があった場合は、すみやかに学生証再発行の手続きを行ってください。「学生証再発行願」に必要事項を記入の上、所属学習センターで発行手続きを行ってください。発行には手数料 500 円が必要です。

【学生生活の葉】学部：18 頁、院：25 頁参照

■上記の提出先

【教養学部】 「住所等変更届」は滋賀学習センター、「氏名等変更届」は大学本部学生課入学・履修係へ
【修士全科生・博士全科生】 大学本部教務課大学院研究指導係へ
【修士選科生・科目生】 大学本部学生課入学・履修係へ

※諸様式は、「学生生活の葉」の巻末にあります。

滋賀学習センターにおける臨時閉所のお知らせについて**■臨時閉所のお知らせ 8月12日(土)～16日(水)**

ご迷惑をおかけしますが、ご理解いただきますようよろしくお願いいたします。

スケジュール

7 月			8 月			9 月		
日 曜	内 容		日 曜	内 容		日 曜	内 容	
1 土	創立記念日 面接授業		1 火			1 金	2023年度第2学期大学院修士選科・科目生、 教養学部学生募集第2回出願受付開始(～9/12)	
2 日	面接授業		2 水			2 土		
3 月	閉所日		3 木	夏季公開講演会		3 日		
4 火	【セ】伊藤 10:15		4 金	集中科目履修生(司書教諭)放送授業終了		4 月	閉所日	
5 水	【セ】京楽 10:15		5 土	【セ】荻田 13:30(オンライン) zoom Online		5 火	【セ】伊藤 15:15	
6 木			6 日			6 水		
7 金	2024年度大学院博士全科目生、修士全科目生出願資格事前審査期限		7 月	閉所日		7 木		
8 土	【セ】荻田 13:30(オンライン) zoom Online 面接授業		8 火			8 金		
9 日	【セ】平井 10:15 面接授業		9 水	【セ】伊藤 13:30		9 土	【セ】荻田 13:30(オンライン) zoom Online	
10 月	閉所日		10 木	2024年度卒業研究履修新規申請開始(～8/17)		10 日		
11 火	【セ】伊藤 10:15 【セ】三ツ石 13:30		11 金	閉所日(山の日)		11 月	閉所日	
12 水	【セ】槽野 10:15		12 土	臨時閉所日(電気設備の定期点検日)		12 火	2023年度第2学期大学院修士選科・科目生、 教養学部学生募集第2回出願受付終了	
13 木			13 日	臨時閉所日(夏季)		13 水		
14 金	【セ】川中 15:15 第1学期放送授業終了		14 月	閉所日		14 木		
15 土	第1学期大学院・教養学部単位認定試験(Web方式)(～7/25) 夏期学習期間(=再放送等)開始(～9/30)		15 火	臨時閉所日(夏季) 第2学期科目登録申請(面接授業を含む)受付開始(～8/30郵送～8/31web) 2024年度大学院博士全科目生・修士全科目生出願受付開始(～8/25)		15 金		
16 日	第1学期大学院・教養学部単位認定試験(Web方式)		16 水	臨時閉所日(夏季) 集中科目履修生(司書教諭)通信指導提出期限		16 土	第2回公開講演会	
17 月	閉所日(海の日) 第1学期大学院・教養学部単位認定試験(Web方式)		17 木	2024年度卒業研究履修新規申請期限		17 日	【セ】平井 10:15	
18 火	第1学期大学院・教養学部単位認定試験(Web方式)		18 金			18 月	閉所日(敬老の日)	
19 水	第1学期大学院・教養学部単位認定試験(Web方式)		19 土			19 火	【セ】伊藤 10:15 【セ】川中 15:15	
20 木	第1学期大学院・教養学部単位認定試験(Web方式) 集中科目履修生(司書教諭)放送授業開始(～8/4)		20 日	【セ】平井 10:15		20 水		
21 金	第1学期大学院・教養学部単位認定試験(Web方式)		21 月	閉所日		21 木		
22 土	第1学期大学院・教養学部単位認定試験(Web方式)		22 火			22 金		
23 日	第1学期大学院・教養学部単位認定試験(Web方式)		23 水			23 土	閉所日(秋分の日)	
24 月	閉所日 第1学期大学院・教養学部単位認定試験(Web方式)		24 木	【セ】槽野 10:15		24 日	卒業証書・学位記授与式、入学者の集い 図書・放送教材整理のため視聴室閉室(～9/30)	
25 火	第1学期大学院・教養学部単位認定試験(Web方式)		25 金	2024年度大学院博士全科目生・修士全科目生 出願受付期限		25 月	閉所日	
26 水			26 土	第1回公開講演会		26 火		
27 木			27 日			27 水		
28 金			28 月	閉所日		28 木		
29 土	面接授業		29 火	【セ】伊藤 10:15		29 金		
30 日	面接授業		30 水	【セ】川中 10:15 第2学期科目登録申請受付期限【郵送】		30 土	夏期学習期間(再放送等)終了 2024年度大学院博士全科目生・修士全科目生入学第一次選考(筆記試験)	
31 月	体育実技単位認定申請期限		31 木	第1学期オンライン授業終了 2023年度第2学期大学院修士選科・科目生、教養学部 学生募集第1回出願受付終了 第2学期科目登録申請受付期限【Web】				

【セ】=セミナー ◇表紙写真説明 面接授業・セミナーの様子